

令和6年度 介護保険特別会計の決算の状況

○歳出

歳出の主なものは、保険給付費で、全体の90・2%を占めています。残りの9・8%は、地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センターなどの費用）、総務費（人件費や事務費など）、基金積立金、国・都などへの負担金返還額を含めた諸支出金です。

なお、保険給付費は、50%を加入者が収めた保険料で負担し、残りを公費（国25%、都12・5%、市12・5%）で負担しています。

▼図4 令和6年度介護保険特別会計決算

高齢化に伴う介護サービス利用の増加により、5年度と比べて、歳出の保険給付費が3億3918万円増加しました。

○65歳以上の加入者1人当たりの保険料と保険給付費

65歳以上の加入者1人当たりの保険料は、平均年額7万1944円でした。サービス利用者1人当たりの保険給付費は、施設サービス給付費が平均月額13万244円でした。

詳しくは、介護保険係へ。

決算の状況は、図4のとおりです。歳入は103億1296万円、歳出は100億9633万円で、2億1663万円が令和7年度への繰越金となります。この繰越金から、6年度分の負担金などの清算として、国や都などに1億2206万円を返還します。

◎歳入

令和6年度 後期高齢者医療特別会計の決算の状況

○歳出

後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

本市における決算の状況は、図5のとおりです。

高齢化に伴う医療費の増加などにより、医療機関に支払う市負担金は増加傾向にあります。医療費を抑制するため、日頃から健康づくりや病気の予防を心掛けましょう。

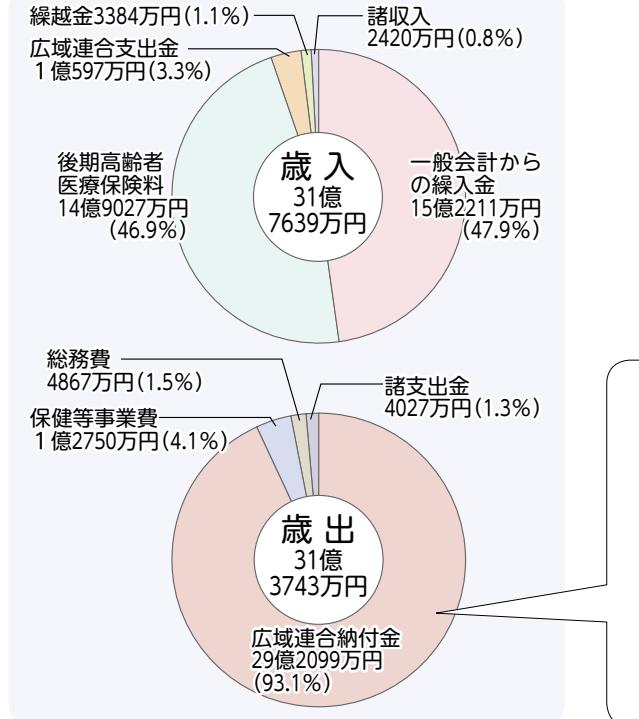
☆詳しくは、後期高齢者医療係へ。

後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

本市における決算の状況は、図5のとおりです。

高齢化に伴う医療費の増加などにより、医療機関に支払う市負担金は増加傾向にあります。医療費を抑制するため、日頃から健康づくりや病気の予防を心掛けましょう。

▼図5 令和6年度後期高齢者医療特別会計決算



▼広域連合納付金の内訳

区分	金額
保険料負担金	14億7828万円
療養給付費負担金	10億1807万円
保険基盤安定負担金	2億6753万円
保険料軽減措置負担金	1億204万円
事務費負担金	5507万円
合計	29億2099万円